

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

自然系コース(数学)  
／平野 康之

## ■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

## Ⅰ. 学長の定める重点目標

## Ⅰ－1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

## 1. 目標・計画

- ①授業内容：専門的な数学を理解するとともにそれらと学校数学との関連も理解し、自信をもって算数・数学の教育を実践できる教員を育成する。更に専門性だけでなく豊かな人間性を持って教育を行うことが重要であることを学生に理解させる。
- ②授業方法：学生に基礎学力と応用力をしっかりと身に付けさせるために、講義の内容に則した小テストを通して学生の理解度を見るとともに学校現場の実践との関連性を考えるようなレポートを課す。また、し学生に発表させる場を設けるなどして学生に教育実践力を身につけさせる。
- ③成績評価：シラバスに基づき、成績評価基準を学生に説明し、公平性、透明性を持たせる一方、学生の質保証のためにも厳格に実施する。また、定期試験では不正行為等が行われないように、これまで以上に慎重を期す。

## 2. 点検・評価

- ①授業内容については専門的な数学とともに、それらと学校数学との関連を説明し、学生が将来算数・数学の教育を実践できるように努力した。更に授業中に何度か専門性だけでなく豊かな人間性を持って教育を行うことが重要であることを説いた。
- ②授業方法については学生に基礎学力と応用力をしっかりと身に付けさせるために、講義の内容に則した小テストを行った。また学校現場の実践との関連性を考えるようなレポートを課し、学生に発表させる場を設け教育実践力を身につけさせるよう心がけた。
- ③成績評価については第一回目の授業で成績評価基準を学生に説明し、公平性、透明性を持たせた。定期試験では不正行為等が行われないように、厳格に実施した。

## Ⅱ. 分野別

## Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

## 1. 目標・計画

- ①数学講座の学生に、折にふれて、教員採用に対する意識・心構えを育成し、学生が充実した勉学・学生生活を送れるように積極的に支援する。また、院生の教員採用試験の勉強の手助けを行う。
- ②折に触れ、自分の研究の一端や、興味あることなどを話すことにより、学生とコミュニケーションをとるとともに、知的集団としての品格のある大学の構築をめざす。
- ③卒業論文・修士論文の指導及び進路・学生生活に関して、自分のゼミの学生であるなしを問わず、常に学生の相談に応対し、適切なアドバイスを与える。
- ④兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科で指導している学生が今年度、学位を取得できるように研究指導する。
- ⑤ソフトボール部顧問として学生の課外活動を支援する。

## 2. 点検・評価

- ①学生に、折にふれて、教員採用に対する意識・心構えについて話すことができた。また、本年度は就職委員会委員でもあるので就職のことで学生と触れる機会が多かった。また折にふれ、院生の教員採用試験の勉強の手助けを行った。今年の採用試験では私の話した問題が兵庫で1問、徳島で1問出たそうである。
- ②自分の研究の一端や、興味あることなどを話すことにより、学生とコミュニケーションをとり、数学に対する興味を惹起した。
- ③卒業論文・修士論文の指導及び進路・学生生活に関して、自分のゼミの学生であるなしを問わず、常に学生の相談にに対し、適切なアドバイスを与えた。
- ④兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科で指導している学生が今年度、学位を取得することができた。
- ⑤ソフトボール部顧問として学生の課外活動を支援した。

## II-2. 研究

### 1. 目標・計画

- ①最近の研究テーマである「有限環と符号理論」について研究成果を出し、学会で発表する。
- ②現在研究中の2つのテーマを論文「On a generalized finite intersection property」と「On constant annihilators of polynomials」にまとめ、共同研究者と共に研究を進展させ、成果を学会誌に投稿し掲載する。
- ③学内外の研究助成の公募に積極的に申請し、研究資金の調達に重点をおく。特に科学研究費を獲得できるように、研究成果を出すように努力する。

## 2. 点検・評価

- ①韓国, Suwon (水原) のKyung Hee Universityで開催された the Sixth China-Japan-Korea International Symposium on Ring Theory において6月29日に講演「Homogeneous functions on rings」を行った。また最近の研究テーマである「有限環と符号理論」について研究成果を出し、広島大学で開催された第27回リー代数サマーセミナーで8月23日に「Rings over which every free submodule of a free module is a direct summand」を発表した。
- ② 研究中の論文「On a generalized finite intersection property」は雑誌 Communication in Algebra へ投稿し受理された。また論文「On constant annihilators of polynomials」は現在、学会誌に投稿中である。
- ③ 今年度の科学研究費(基盤研究(C))に応募した。

## II-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

- ①就職委員会委員として学内の会議に出席し、職務を遂行する。
- ②大学院入試委員会委員として学内の会議に出席し、職務を遂行する
- ③教員免許状更新講習会実施委員として学内の会議に出席し、職務を遂行する。
- ④他大学での知り合いに対し、直接訪問(あるいは研究連絡、学会等の折)もしくは電話・メールで、本校大学院へ学生への受験の勧誘をしてもらうよう依頼する。
- ⑤算数・数学科コース1年～4年の副担任として教員採用試験に関して学生へ援助、協力を行うことにより本学の教員採用率の向上に貢献する。

## 2. 点検・評価

- ① 就職委員会委員として学内の会議に出席し、職務を遂行している
- ② 9月末まで大学院入試委員会委員として学内の会議に出席し、職務を遂行したが、10月から自然系コース(数学)の宮口先生と委員を交代した。
- ③ 教員免許状更新講習会実施委員として学内の会議に出席し、職務を遂行した。
- ④ シンポジウムや研究集会で他大学での知り合いに対し、本学大学院への学生の受験の勧誘を行なった。
- ⑤算数・数学科コース1年～4年の副担任として学生へ援助、協力を行なった。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

- ①附属小・中学校の算数・数学教員たちと日頃から緊密な関係を保ち、メールによる質問、相談を受け付け、解答、アドバイスを行う。(附属学校)
- ②学校数学研究会副会長として、夏の学会の開催・会誌の出版を行い、現職数学教員たちと現場の問題解決に向けて討議を行う。(社会連携)
- ③教員支援講師・アドバイザーとして登録し、機会ある毎に、学校現場で数学の話をし、教師の資質の向上を図る。(社会連携)
- ④10月15日に教員免許状更新講習「整数と分数」を行う。(社会連携)
- ⑤JICA研修(大洋州)で講義を行い、協力する。(国際交流)

### 2. 点検・評価

- ①8月3日(水)に附属学校の算数・数学教員教育懇談会を行なった。9月6日(火)に附属中学校のプレ授業・研究協議に参加し附属中学校が文部科学省の指定を受けて行っている言語活動に関する研究活動について数学専門の視点で助言を与えた。11月22日(火)には附属中学校の生徒を対象にした授業支援として第2学年総合学習選択授業で「数の不思議」という題目の授業を行った。(附属学校)
- ②学校数学研究会副会長として、8月27日(土)に第19回学校数学研究発表会を今夏に開催し、現職数学教員たちと現場の問題解決に向けて討議した。(社会連携)
- ③8月7日(日)に徳島県教育会館で徳島県教育会と自然系コース(数学)で徳島わくわく算数教室を開催した。(社会連携)
- ④今年も教員支援講師・アドバイザーとして登録した。(社会連携)
- ⑤10月15日(土)に教員免許状更新講習「整数と分数」を行った。(社会連携)
- ⑥JICA研修(大洋州)で6月7日(火)に大洋州の8名に対し講義を行った。(国際交流)

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

--